

# 長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

平成31年3月9日(土) 第93号

お掃除を終えた更北中学校の皆さんのお顔は、最高に輝いていました！



## 1 来年度、第12回清掃サミットは…長野市立更北中学校で開催させていただきます！

2月16日(土)は、長野市立更北中学校にてお掃除の会を初めてやらせていただきました。多くの学校がそうであるように、生徒数は減少傾向にあるとはいえ、昔から長野市内でも大きな学校のひとつで、トイレの数は全部で13カ所（男女で26カ所）もあり、どこからお掃除をしようか迷うほどでした（笑）。更北中学校では、今年度から竹村昭浩校長先生が「自立清掃」という柱を立てていただき、来年度の第12回長野県中学校清掃サミットの会場校をお引き受けいただきました。そんな関係で、今回のお掃除の会も「プレ清掃サミット」と位置づけていただきまして、当日は生徒さんが2年生を中心に45名、先生方も竹村校長先生・後藤教頭先生をはじめ、先生方も7名も参加していただきました。その中で、今回は清掃美化の係の渡辺先生に代表してご寄稿いただきました。ありがとうございました。

### プレ清掃サミットに参加して

### 長野市立更北中学校教諭・渡辺 寛教

更北中学校で清掃美化の係になって、早3年が経ちました。平成30年度は「自立清掃」を目標に掲げ、生徒の自立を清掃面からも支えるという壮大な目標に対し、生徒たちの清掃の姿の中に程遠い姿を見かける度に深いため息を心の中ではき、どうしたら清掃がもっと充実したものになるのだろうかと悩む日々でした。そんな折、来年度「長野県中学校清掃サミット開催」のお話をいただき、それに先んじて、本年度中に「掃除に学ぶ プレ清掃サミット」が開かれることが決まりました。ちょうど、校内の職員間の話し合いでも「3学期はトイレ掃除を重点的に研究しよう」という声があり、個人的にも便教会の先生の「絶対に参加して損はさせません」という言葉に興味がわき、参加する事となりました。

当日の予定を見て、まず驚いたことは2時間30分という長大な清掃の時間でした。しかも、掃除する場所はトイレだけ。何の想像も出来ないまま、班ごとに分かれ、トイレに向かいました。一人ひとりに掃除する便器が与えられ、私の場所は水道と洗面台まわりでした。最初はそれを磨くところから始めましたが、普段は気づいていないキズや黒ずみがそこかしこに見られ、こんな汚れを取るのは不可能だろうという思いを持ちつつ、磨き始めました。しかし、そんな私の心を見透かしたかのように「落ちない汚れは無いよ」と生徒に言っている班のリーダーの先生の言葉が聞こえ、心を入れ替え、汚れと向き合いました。

汚れとの戦いは思ったより難儀で、こすってもこすっても落ちません。困っていた私にまた班のリーダーの先生から「これを使ってみてください」と声がけをいただき、道具を貸してくださいました。その後、自分なりにも工夫しながら磨くこと数十分。明らかに始めたときよりも輝き始めた水道と洗面台に、だんだんと喜びを覚え始め、念入りに汚れを落としていきました。最後に仕上げで床を拭く場面で、自分の磨いた水道を見上げたのですが、水道の裏に汚れを見つけてしまい、その汚れを落としきれなかった自分に悔しさを感じました。そう感じた自分にも驚きを覚えました。こうして長いと思っていた時間はあっという間に過ぎ去り、生徒と使った道具を洗い、全ての行程が終了しました。

これまでの人生の中でこれほど長く、真剣にトイレ掃除と向かい合ったことはありませんでした。そして明らかに自分の中で「清掃」に対する見方や考え方方が変わったのを感じました。道具一つひとつの使い方に意味があり、それらを駆使して磨き上げていく作業の中に、心を磨くような感覚がありました。それはとても新鮮で、気持ちの良いものだったと思います。こんな思いを一人でも多くの生徒に感じて欲しい。そう思っています。来年度の「清掃サミット」に心から期待しています。

「掃除を学ぶ」のではなく、「掃除に学ぶ」ことの価値に触れていただいたのは、渡辺先生だけではありません。多くの生徒さんも、感じてくださっています。

○南校舎2階の西トイレの清掃をしました。最初は「トイレ掃除ヤダなあ」とか「2時間30分も掃除できないでしょ」とか、すごくダルい気持ちで行ったんですけど、やってみると2時間30分じゃ足りず、まだまだやり残した所がたくさんあり、しかも1班10人くらいのグループだったけど、それぞれ個室や水道だけで2時間半でも足りませんでした。しかも、普段こんなところまでやっていないし、私は水道をやったんですけど、めっちゃ新しいやつみたいに白く美しくなりました。ずっとダルかった気持ちが、いつしかキレイになってうれしくなった！と思いました。（2年女子）  
○僕ははじめ「なんでトイレを掃除しなきゃいけないんだ」と思いながら掃除をしていました。だけど、掃除していくうちに、「ちゃんと掃除をしなきゃ」とか「どこに汚れがあるんだろう」と思いながらしっかりと掃除をしました。そしたら、やっていくうちに楽しくなっていき、いろいろな所の掃除をしっかりとやろうと思いながらやれました。なので、今日学んだことを生かして、残り一年と少しの日数だけど、しっかりと掃除をしたいです。（2年男子）

この他にも、更北中の先生方が反省会で生徒さんたちが語ったことをメモしてくださっていました。たくさんあるのですが、その一部を掲載します。

○汚れに気づけて落とせたことがうれしかった。  
○今日の掃除を通して、掃除の楽しさを知ることができた。  
○今日はいろいろなことを学べて、来てよかったです。  
○長いと思っていた時間も、一生懸命に便器を磨いていたら、あっという間だった。  
○最初はやりたくなかったけど、たくさん汚れが見えてくるようになった。  
○工夫するいろいろと掃除も楽しい。  
○達成感が多すぎた。  
○フローラルな香りがしてくるような気がした。  
○普段は時間が余るけど、今日は時間が足りなかった。  
○普段の掃除でサボっている時間なんて1秒もないと思った。  
○来てよかったです。次の時も参加したいです。  
○掃除のことも、これから的生活に生かせることも、たくさん学ぶことができました。  
○今日教えてもらったことを、学校生活でも、家でも実戦したいと思います。

こんなにたくさんのメモを残してくださった先生方のお一人も、次のように語られています。

清掃をする前と後では、生徒の顔が違って見えました。普段の清掃をやっている姿と、今日の姿はまったく違ったものでした。この2時間半で生徒が「変わった」わけではなく、本来持っているそのような姿を引き出さなくてはいけないのだと感じました。

この先生のおっしゃる通りだと思います。お掃除に限らず、部活でも勉強でも、本来生徒たちは学ぶ力・追究する力を持っています。その持っている力を引き出してやれるかどうかは、我々教師の力量の問題なのではないかと思います。だとすると、私たちがすべきことは、「掃除をしろ」「努力が足りない」「もっと勉強しろ」と生徒たちに発破をかけることではなく、自分自身の力量を高めるべく自己研鑽(自分磨き)をすることなのだと思います。生徒たちに変容を迫る前に、教師がまず自分を変容・成長させようと、努力や実践をし続ける必要があります。そこに我々「便教会」の原点があります。「ただ身を低くして、実践あるのみ」です。渡辺先生にもこちらの先生にも、その意志を感じます。こうした先生方との出会いがうれしく、元気が出ますね。

## 2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2土曜朝6時~8時30分 (5:45にはご集合ください)

4月は13日、5月は11日です。平成最後の月例会と、新年号最初の月例会になりますね。

○第12回長野県中学校清掃サミット→2019年7月28日(日)長野市立更北中学校

こんなにステキな更北中の生徒の皆さんや先生方と一緒に、お掃除と意見交換をしませんか。詳しい開催要項は、新年度になってから発送します。大勢の皆さまのご参加をお待ちしています！

今日・明日「第13回小布施中学校掃除に学ぶ感謝の会」です。月例会でカウントすると191回だそうで、来年度中には200回になるんですね。今回も県内外から大勢の皆さまにご参加いただき、ありがとうございます。「小布施掃除に学ぶ会」も「長野便教会・清掃サミット」も、こうしてここまで来られたのは、熱烈な小布施サポートー・信州サポートーの皆さまのおかげです。これからもよろしくお願ひいたします。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(山ノ内町立南小学校教諭)

携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp

小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>